

とくはつせい せいじょうあつ すいとうしょう
「特発性 正常圧 水頭症」

という病気を
ご存知でしょうか？

“治療可能な認知症”として
注目されている疾患です

■ 特発性正常圧水頭症とは

中高齢になって、下記のような状態になっている方が周りにいませんか？

小刻み歩行で不安定、片足立ちが困難となっている。進行していれば一人で歩けない状態	歩行障害
物忘れが多く、自発性や意欲の低下が目立ち、日常動作が緩慢となっている状態	認知障害
尿意を催してから排尿するまでの時間が短い（尿意切迫）ため、失禁してしまう状態	排尿障害



小刻み
すり足
転びやすい



物忘れ
ボーっとしている
作業に時間がかかるようになった



尿漏れ

これらはよく見られる症状であり、いろいろな病気でおこりますが、ひとくくりに「認知症」として診断する場合があります。

しかし、その中には「特発性正常圧水頭症」という病気により頭の中の髄液の流れが悪くなっておこる場合があります。

この「特発性正常圧水頭症 (iNPH)」は適切なシャント術によって、歩行障害・認知障害・排尿障害といった症状がよくなります。

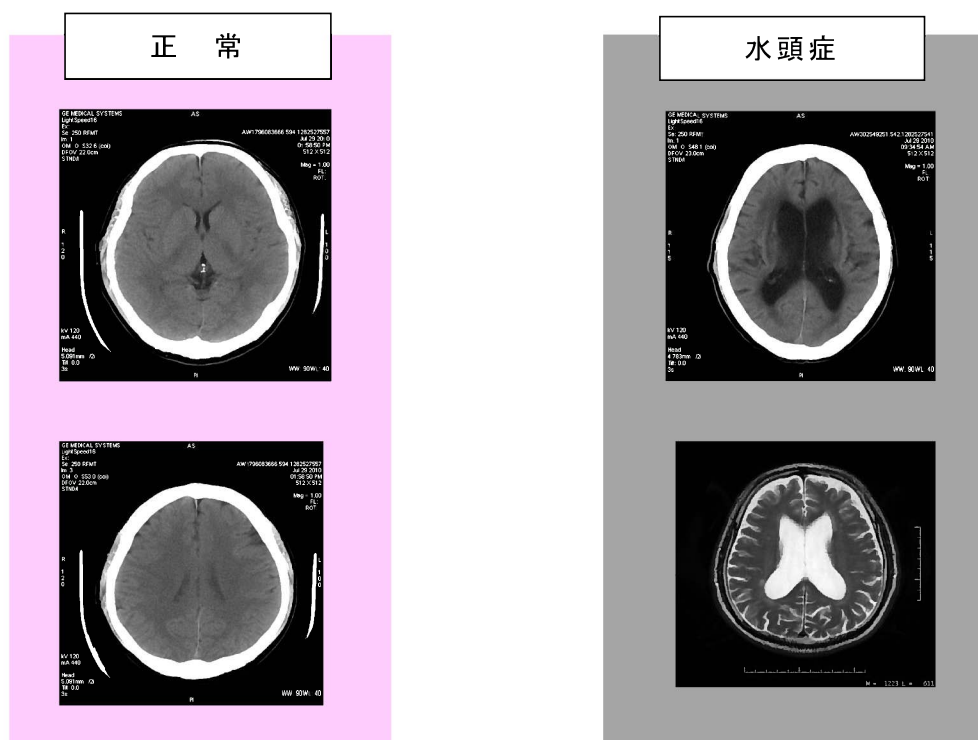
“治せる認知症”として、「特発性正常圧水頭症」の治療に取り組んでいます。

■ 特発性正常圧水頭症の診断

脳神経外科の外来を受診します。

特発性正常圧水頭症は頭の病気ですから、MRIやCTなどの脳画像検査を行います。脳室の拡大や「特発性正常圧水頭症」としての特徴的な画像所見の確認、それに三つの特徴（歩行障害・認知障害・排尿障害）や性格変化などの症状も参考にします。

次に、実際に髄液を腰から排出して経過を見る「髄液タップテスト」を行います。この検査は腰部から髄液穿刺を行い髄液を30ccほどゆっくり抜きます。髄液を抜くことで歩き易くなったり・話し方がはっきりしてくるなどの変化が見られるか否かで判定します。



■ 特発性正常圧水頭症の治療

「特発性正常圧水頭症」の治療は、シャント手術が唯一の方法になります。ただし、シャント手術が有効な症例であっても、手術の時期を逸すると脳の障害が進行してしまい、十分な治療効果を期待することは難しいことがあります。

早期診断、早期治療が重要です。

シャント手術は、皮膚の下にシリコンでできた管(2.2~2.7mm)を通して、頭(脳室)と腹腔(VP)や、腰(腰椎くも膜下腔)と腹腔(LP)を連結し髄液をお腹に流して吸収させるものです。手術時間は、1時間程度です。

「特発性正常圧水頭症」に対するシャント手術では、シャントシステムの選択が他の水頭症に比べ難しく、手術後もシャントの機能を慎重に観察する必要があります。

シャント手術の入院期間は、1~2週間です。

■ シャント後の注意事項

【術後管理】

術後に歩行は改善され活動性が高まるが、すぐに完全回復するわけではなく、安定した歩行状態になるまではかえって転倒の危険性が高まる場合があります。

シャント術後の患者では転倒により硬膜下血腫・硬膜下水血をきたす危険性があり、十分に気をつける必要があります。

【合併症】

シャント術の合併症として考えておかねばならないのは、感染、シャント機能不全、髄液過剰流出による頭痛や硬膜下水腫・血腫などです。再手術率や合併症の発生率はさほど高いものではありませんが、対象が高齢者であるため、慎重な経過観察が必要です。

【改善しない場合】

高齢者は、他のいろいろな病気を合併している場合が多く、症状が改善しないで元に戻ってしまう場合もあります。

■ 特発性正常圧水頭症の頻度

「特発性正常圧水頭症」の好発年齢は60歳以降で、やや男性に多いようです。認知症患者は国内に現在、250万人いると言われ、そのうち「特発性正常圧水頭症」である患者は5%（約12.5万人）と考えられていました。これまでの分析調査の結果、「特発性正常圧水頭症」が疑われる人は高齢者（65歳以上）の0.51～2.9（1.1）%であると推定されており、日本の人口で換算すると低く見積もっても約31万人（人口10万人あたり約250人）の方が罹患している可能性があります。

「特発性正常圧水頭症」の有病率は、よく知られた疾患である認知症や歩行障害を呈するアルツハイマー病高齢者の約4%（人口10万人あたり1,000人）やパーキンソン病高齢者の0.4%～0.7%（人口10万人あたり100～150人）の間に位置すると推定されます。

■ 外来受診のご案内

	月	火	水	木	金	土
午前	井上	松岡	杉浦	中谷	杉浦	井上
午後	杉浦	杉浦	植田	井上	松岡	—

受付時間：午前 8時30分～12時 午後 13時30分～16時30分

予約外来：病院へ電話の上「脳神経外科の予約の件」とお話し下さい

紹介窓口：地域医療連携室 なかじょう こいけ いわさき 中條・小池・岩崎



熱海所記念病院

TMG Toda Medical Group

〒413-0022 静岡県熱海市昭和町 20-20

TEL 0557-82-3000 FAX 0557-81-0362

ホームページ：<http://atami-tokoro.jp>

※ 右記QRコードより携帯電話からもアクセスできます

